



<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/ss/Takeokadai-H/top.html>

校訓： 明るく 仲良く たくましく

学校便り

武岡台養護学校 平成30年4月26日(木)



喜んで通う学校

校長 中村周一郎

本校では、数年前から、めざす学校像として一番目に「児童生徒が喜んで通う学校」を掲げています。子供たちは、学校で学べる楽しさや友達と関わり合う喜び、困ったときに先生に相談できる安心感などがあれば、毎日喜んで学校に通えると思います。私は小さな離島の出身で、近所に同級生がおらず、島に幼稚園もなかったため、小学校に通うようになると毎日学校に通うことがとても楽しかったことを覚えています。そこには、新しく知ることの喜びと、友達と切磋琢磨し合う楽しさがありました。本校でも、子供たちが学校生活に楽しみをもって、毎日笑顔で登校してくれることを心から願っています。

また、近年では学校職員の働き方改革が話題にあがるようになりました。子供たちの学校生活が充実するには、学校職員が元気でなければなりません。そのために、職員一人一人が学校職員として責任ある業務を行い、仕事と余暇のバランスのとれた生活を送ることを推奨しています。先生が元気であることが、子供たちの充実した学校生活、ひいては豊かな将来につながると考えています。子供たちも先生たちも、毎日学校に喜んで通う学校をめざしていきますので、今後とも変わらぬ御支援をお願いいたします。

～ 新 入 生 を 迎 え て ～ <小 学 部>

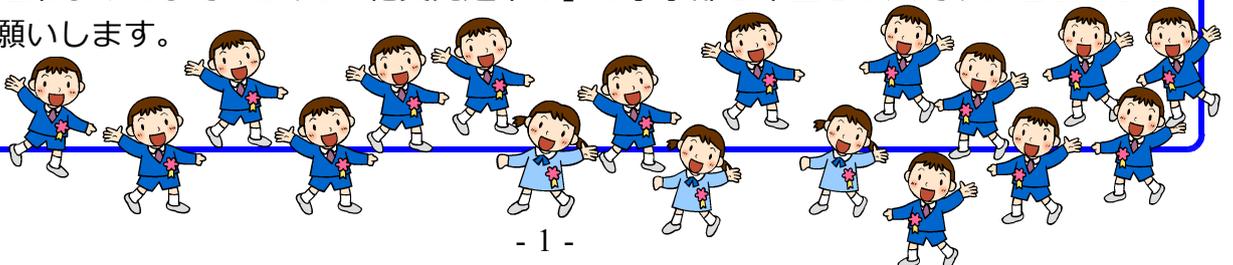


初めての学校、初めての教室、初めての友達、初めての先生・・・何もかもが初めてづくしの4月9日。わくわく、どきどきの表情をした新1年生18人が武岡台養護学校小学部に仲間入りしました。

入学式から約1か月が過ぎました。「武岡台養護学校ってどんなところなんだろう？」と、好奇心旺盛、興味津々の子供たちは、日々学校中を探検しています。そして、お気に入りの場所や遊び、気になる友達や先輩、先生を少しずつ見付けているようです。学校生活のリズムも身に付き始め、いろいろな学習も始まりました。子供たちがどんな学習をしているか、少しだけ紹介します。

登校して最初にするのは玄関での挨拶と靴の履き替えです。にこにこ笑顔の子もいれば、目をこすったり大きなあくびをしたりしながら挨拶をする子もいます。トイレや着替えを終え、好きな遊びで気持ちを整えたら、朝の会のスタートです。笑顔で返事をしたり元気に歌ったり、期待感一杯の様子が伝わってきます。2時間目以降の学習では、生活単元学習や体育、音楽、「遊び」の学習で体を動かし、国語や算数で絵本に親しみました。

学校生活はまだまだ始まったばかりです。これからもっともっといろいろな姿が見られることを楽しみにしています。「絶賛発達中！」の小学部1年生18人です。どうぞよろしくをお願いします。



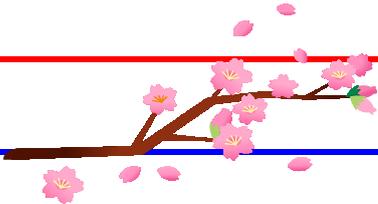
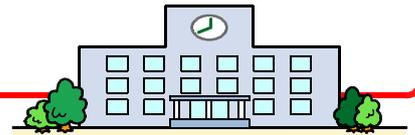
＜中 学 部＞

真新しい制服に身を包み、少しだけ緊張した表情で入学式に参加した中学部新生19人は、日に日に笑顔が多く見られるようになり元気に新しい学校生活をスタートすることができました。

中学部最初の行事である新生歓迎会では、一人ずつ自己紹介をしました。名前、クラス、好きなこと、中学生になって頑張りたいことなど、緊張しながらも中学生らしく堂々と一人で発表する姿は頼もしささえ感じることでした。この日のために会場設営や案内状・名札作りなどを準備してくれた2・3年生の先輩方は、1年生が自己紹介をするたびに一人一人に大きな拍手をしてくれました。この拍手が1年生の安心と自信に満ちた発表につながったと感謝することでした。

初めての学年合同の授業では、中学部の学習や行事などの説明を聞いたり、挨拶の仕方や中学部の三つの約束を確認したりしました。特に、新しく取り組むことになる作業学習の説明では、身を乗り出して話を聞く姿が見られました。「〇〇班になりたい」と発表するなど、目的をもって入学してきた生徒も多く、先輩方と一緒に取り組むことを楽しみにしているようです。

このようにやる気に満ちた生徒のために、保護者と連携をとり、生徒一人一人が学校生活を楽しみ友達と協力して意欲的に活動できるように取り組んでいきたいと思えます。中学部1年生19人にたくさん声を掛けてください。



＜高 等 部＞

暖かい春の陽気の中で行われた入学式を終え、1年生38人の高等部生活が始まりました。本校中学部、桜丘養護学校中学部、鹿児島市内の各中学校というそれぞれの学校から集まった生徒たちは、入学直後は不安や緊張で硬い表情が見られました。しかし、入学から10日も経つと、新しい環境や人間関係に少しずつ慣れ、廊下や教室では笑顔いっぱい元気な声が響き渡るようになってきました。

高等部の生活は、朝の体力づくりから始まり、国語や数学、音楽、美術、保体、生活単元学習や総合的な学習の時間など、教科等の学習が充実しています。委員会活動や作業学習では、学年を超えて、たくさんの生徒たちと関わりながら活動します。また、1年生は校内で、2・3年生は校外で、前期・後期ともに2週間ずつの実習期間があり、働くことの喜びや大切さなど、身をもって体験することができます。さらに、運動会や生徒会活動などでは、高等部生が学校の中心となって活動します。

高等部1年生の学年目標は、①元氣よく挨拶や返事をする、②時間を守る、③「〇〇さん」で名前を呼び合う、④友達と協力するの4つです。高等部卒業後に、社会人として大きな花を咲かせるために、高等部3年間で、基本的な生活習慣、社会生活のマナーやルールはもちろん、何事にも一生懸命取り組む力、他者とコミュニケーションをとる力なども、しっかり身に付けていきましょう。

